



岐阜県

JAぎふ 水田農業担い手協議会

売上による  
所得増大効果

## ふるい下米の活用や多収性品種への転換で、 1年で約5,035万円の所得増大効果を実現



農業者の  
所得増大

JAぎふ（岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・笠松町・岐南町・北方町）では、**売上増加**に向けて、買取販売の強化や、多収性品種への転換推進による生産販売の強化、消費拡大のキャンペーンなど、さまざまな取り組みを実践してきました。

その結果、管内農業者に対して、2019～2020年度にかけて、約5,035万円の農業者の所得増大効果を実現しました。

### 【JAの具体的取り組みと成果】

#### 売上増加に向けた取り組みと所得増大効果

##### ①ふるい下米の活用による買取販売の強化

ふるい下米について、統一紙袋を作成し米集荷時に合わせて集荷するとともに、もともと扱っていたカントリーエレベーターなどで製造するふるい下米と合わせてロットを構成し、実需者等へ価格交渉することで単価の向上に取り組みました。

➤2020年度の所得増大効果 約225万円

##### ②多収性品種への転換推進による生産販売強化

高温障害による品質・収量で課題のあった「コシヒカリ」から新品種「にじのきらめき」への作付け転換を進め、複数年契約や加工用米等の水田活用米穀作付などを提案。従来品種から、約176haで転換を行い、単収は約160kg増加しました。

➤2020年度の所得増大効果 約4,690万円

##### ③新たな販売手法の実施による販売取扱数量の増加

コロナ禍で家庭内消費が拡大する機運を捉え、低接触による新たな販売手法として、地域住民を対象としたドライブスルー販売を行うなど、消費拡大キャンペーンを実施。令和2年産の米価はコロナ禍の影響により前年度に比べ相対的に下落しましたが、新たな販売手法も取り入れたことで、30kg玄米販売企画分の販売取扱数量は2019年から2020年度にかけて約21.1%増加しました。

➤2020年度の所得増大効果 約120万円

#### ふるい下米の活用による買取販売の強化



【所得増大効果】

2019～2020年度

約**225**万円

#### 多収性品種への転換による生産販売の強化

転換面積 (2019年度から2020年度) 約**176** ha 単収の増加 (従来品種の目標単収との比較) 約**160** kg

【所得増大効果】

2019～2020年度

約**4,690**万円

#### ドライブスルー販売など 新たな販売手法による販売取扱数量の増加



販売取扱数量の増加 (2019年度から2020年度) 約**21.1** %

【所得増大効果】

2019～2020年度

約**120**万円

各施策による  
所得増大効果の合計



2019～2020年度

約**5,035**万円

所得増大効果：JAの取り組みにより、農業者の所得の増加に寄与した額

